

朝来市景況調査書

令和5年度 第2四半期

(調査対象：令和5年7月～9月)

朝来市商工会

令和5年11月

【目次】

1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：34件）	5
②製造業（有効調査書数：38件）	7
③小売業（有効調査書数：39件）	10
④サービス業（有効調査書数：67件（内、飲食店：16件、宿泊業7件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R5. 7~9 月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	308	424	113	125
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	106	89	86	167
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	34	38	39	67

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施していましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

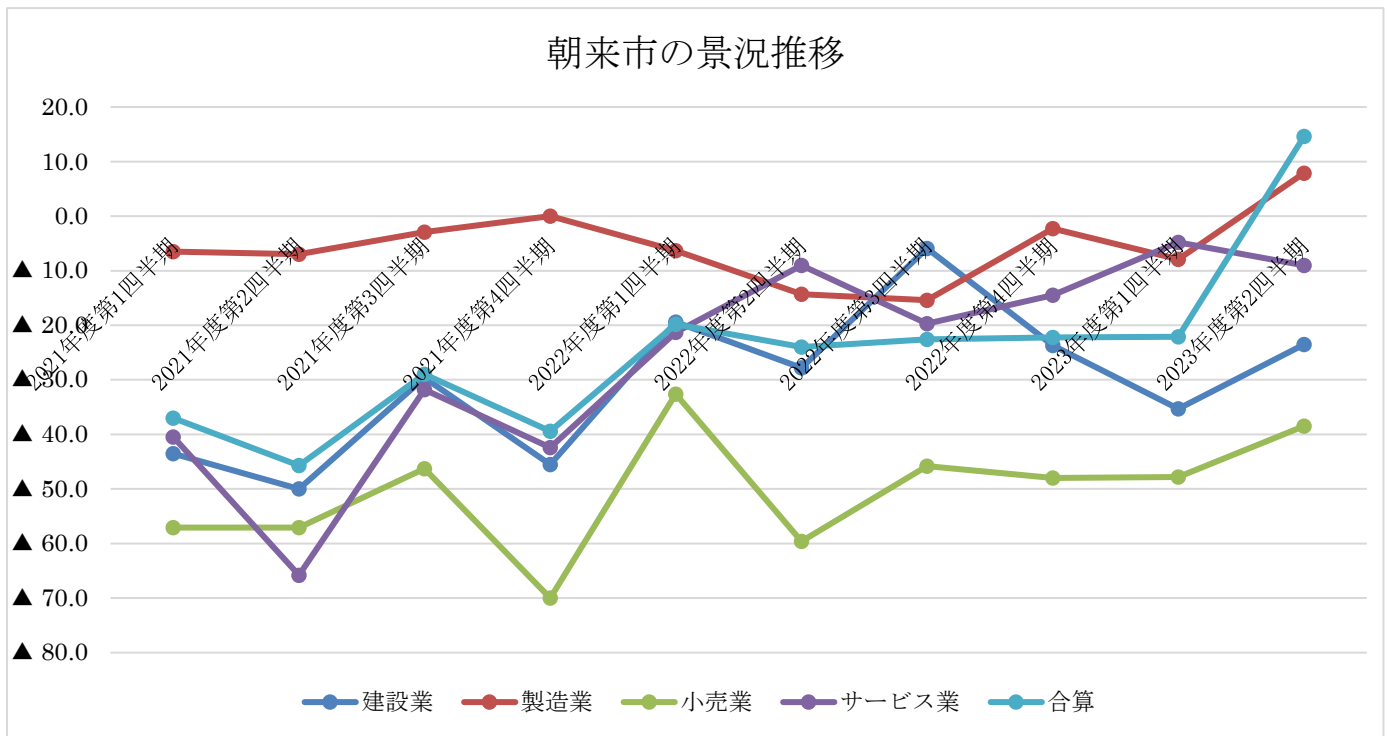
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認下さい。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2022年度 第1四半期 (R4.4~6月)	2022年度 第2四半期 (R4.7~9月)	2022年度 第3四半期 (R4.10~12月)	2022年度 第4四半期 (R5.1~3月)	2023年度 第1四半期 (R5.4~6月)	2023年度 第2四半期 (R5.7~9月)
建設業	▲19.5 (36件)	▲27.8 (36件)	▲5.8 (34件)	▲23.6 (38件)	▲35.3 (34件)	▲23.5 (34件)
製造業	▲6.8 (48件)	▲14.3 (49件)	▲15.4 (39件)	▲2.3 (44件)	▲7.9 (38件)	7.9 (38件)
小売業	▲32.6 (43件)	▲59.6 (42件)	▲45.8 (48件)	▲48.0 (50件)	▲47.8 (46件)	▲38.5 (39件)
サービス業	▲21.4 (75件)	▲9.0 (77件)	▲19.7 (71件)	▲14.5 (62件)	▲4.8 (63件)	▲9.0 (67件)
合算	▲19.8 (202件)	▲24.0 (204件)	▲22.6 (192件)	▲22.2 (194件)	▲22.1 (181件)	▲14.6 (178件)

(※回答数 182 件、うち業況未回答 4 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

建設業、製造業、小売業は前回調査 (2023 年度第 1 四半期) と比較し D. I. 値が増加となり、サービス業は減少となりました。また製造業はプラス値を示しています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：34件）

○昨年(7月～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(※業況未回答1件)

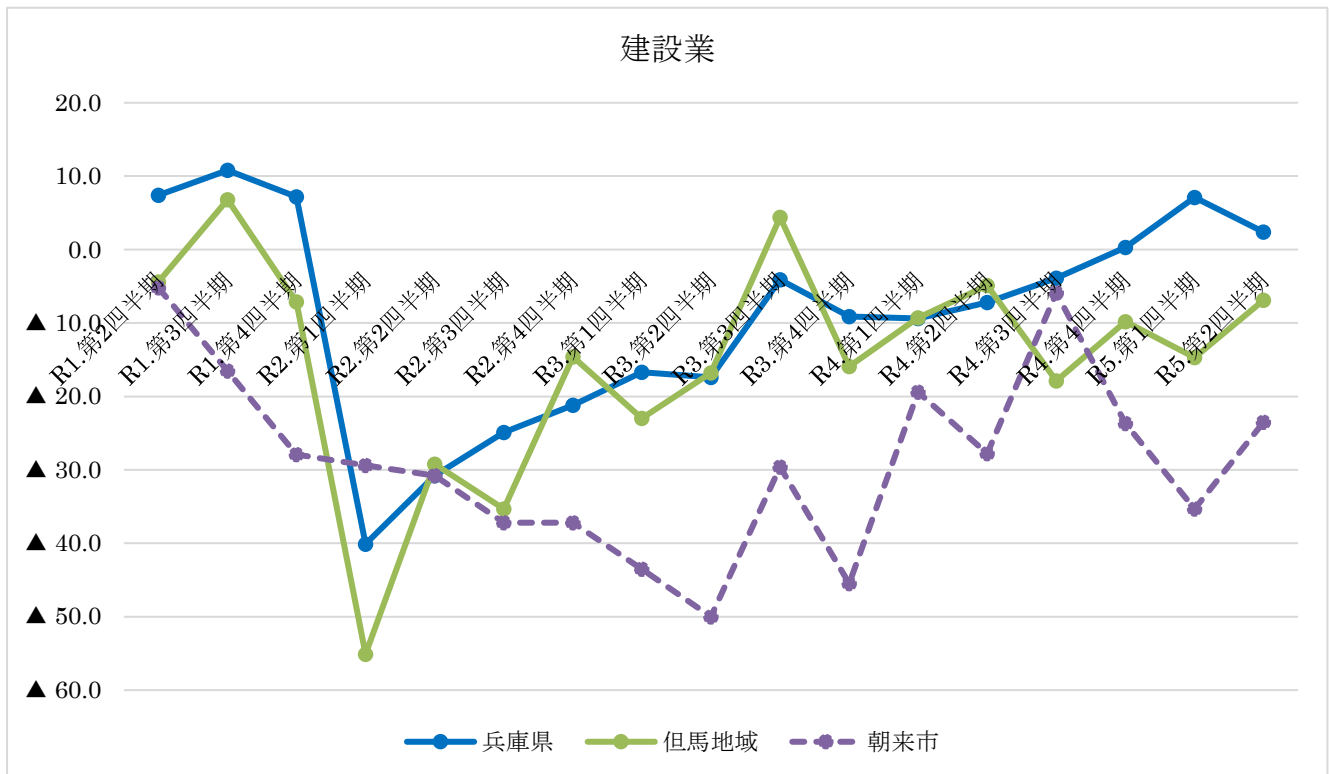
	件数	構成比
好転	4件	11.8%
不変	18件	52.9%
悪化	12件	35.3%

「悪化」の回答が減少し、D.I. 値の増加となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	2.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲6.9ポイント
朝来市	▲23.5ポイント

前回調査に引き続き、兵庫県全域ではプラス値、但馬地域および、朝来市はマイナス値の結果となりました。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域・朝来市のD.I.値はマイナスとなりましたが、前回調査を上回っています。一方で兵庫県全体では前回より減少しましたが、プラス値をR4年度第4四半期(R5.1～R5.3)より維持しています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難
3 位	人件費以外の経費の増加	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難

原油高騰、物価高騰の影響により、「材料等仕入単価の上昇」が 1 位となっております。従業員の雇用に関する項目も 2 位、3 位に上がっているため、多くの企業が人材不足に悩んでいることが分かります。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	16 件
現状維持	15 件
事業承継への取り組み	6 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：38件）

○昨年(7月～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

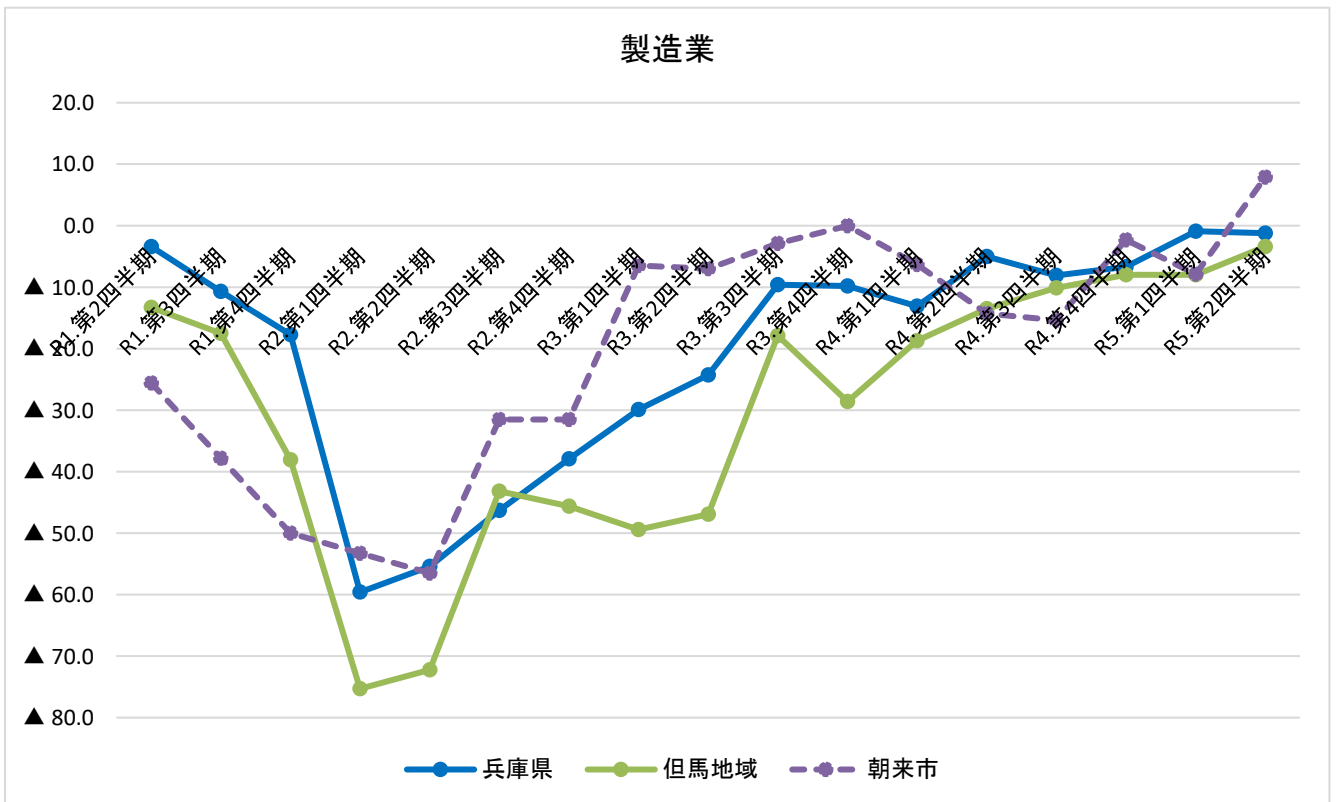
	件数	構成比
好転	11件	28.9%
不変	19件	50.0%
悪化	8件	21.1%

「好転」と回答した企業が増え、D. I. 値がプラスとなりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲1.2ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲3.4ポイント
朝来市	7.9ポイント

朝来地域のD. I. 値が最も高くなっており、兵庫県・但馬地域においてもプラス値に近い数値を示しています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

朝来市地域のD. I. 値はここ数年の調査で最も高い数値を示しています。兵庫県全域・但馬地域もプラス値に近い数値を示しており、今回調査の4業種の中で、地域差の幅が最も少なくなっています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難
3 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加

建設業同様に「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」「人件費以外の経費の増加」が連続で上位に入っており、原材料高騰と人材不足の問題が長く続いています。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	20 件
現状維持	15 件
事業承継への取り組み	9 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	2 件	22.2%
不変	4 件	44.4%
悪化	3 件	33.3%
D. I. 値	—	▲11.1 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	7 件	58.3%
不変	4 件	33.3%
悪化	1 件	8.3%
D. I. 値	—	50.0 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	1 件	11.1%
不変	5 件	55.6%
悪化	3 件	33.3%
D. I. 値	—	▲22.2 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。金属製品に関する製造業はわずかながら減少し、食料品・飲料等の製造は前回に引き続きプラス値を維持しつつ増加、繊維製品の製造は「好転」と回答した事業所があり、D. I. 値が改善いたしました件でした。

③小売業（有効調査書数：39件）

○昨年(7月～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

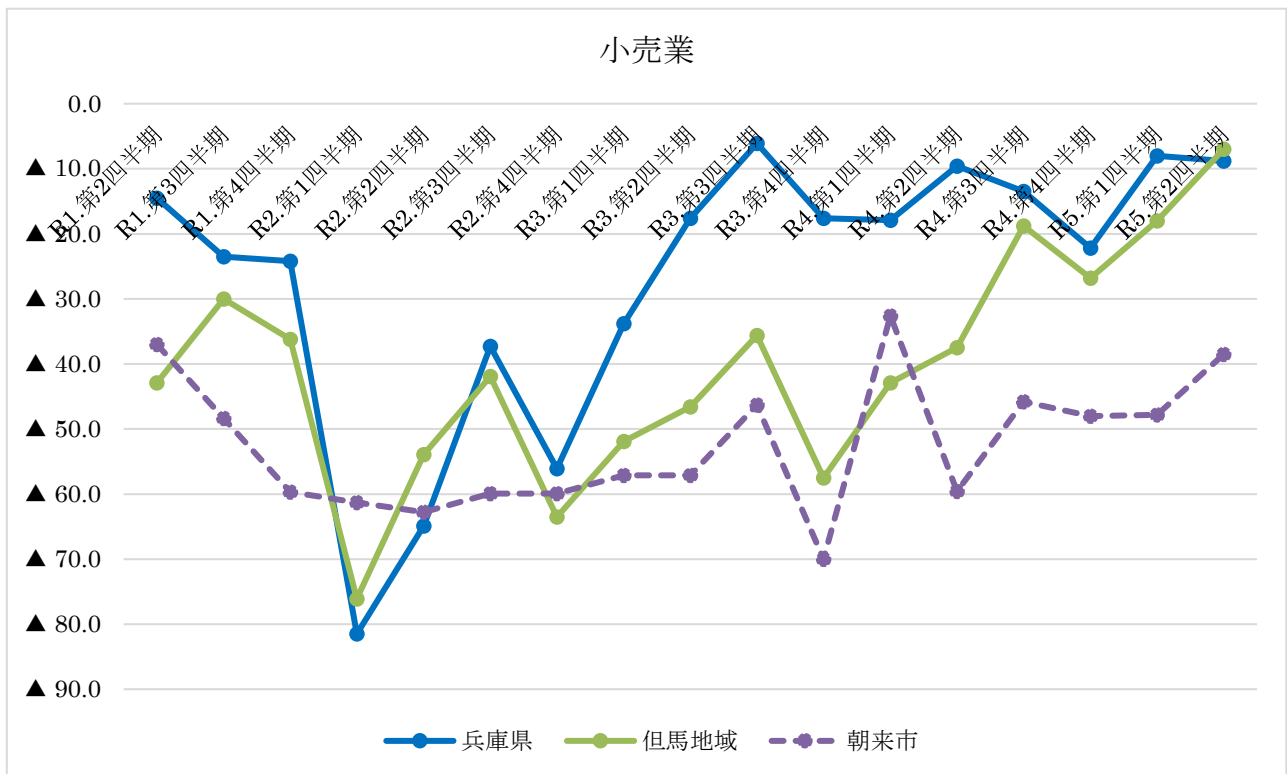
	件数	構成比
好転	5件	12.8%
不変	14件	35.9%
悪化	20件	51.3%

小売業の D. I. 値はマイナスが続いていますが、前回調査を上回っています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲8.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲7.0ポイント
朝来市	▲38.5ポイント

兵庫県全域、但馬地域と比較し、朝来市の D. I. 値が低い数値を示しています。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域・但馬地域はR5年度第1四半期(R5.4～R5.7)から徐々に回復しています。朝来市においては前回より上向きとなりましたが厳しい状況が続いており、地域間の差が開いています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	人件費以外の経費の増加

4 期連続で「材料仕入単価の上昇」「利用者ニーズの変化への対応」が上位に入っています。原材料高騰の問題だけでなく、消費者の動向やトレンドに合わせることを求められていると予想できます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	13 件
現状維持	18 件
事業承継への取り組み	9 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	5 件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・化粧品・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	1件	8.3%
不変	6件	50.0%
悪化	5件	41.7%
D.I.値	—	▲33.3ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	2件	25.0%
不変	2件	25.0%
悪化	4件	50.0%
D.I.値	—	▲25.0ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は改善を見せており、「飲食料品にかかる小売業、卸売業」は「悪化」と回答した企業が増えたことにより、D.I.値も減少の結果となりました。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

・写真機・時計・眼鏡小売業…「悪化」2件

④サービス業（有効調査書数：67件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（1件未回答）

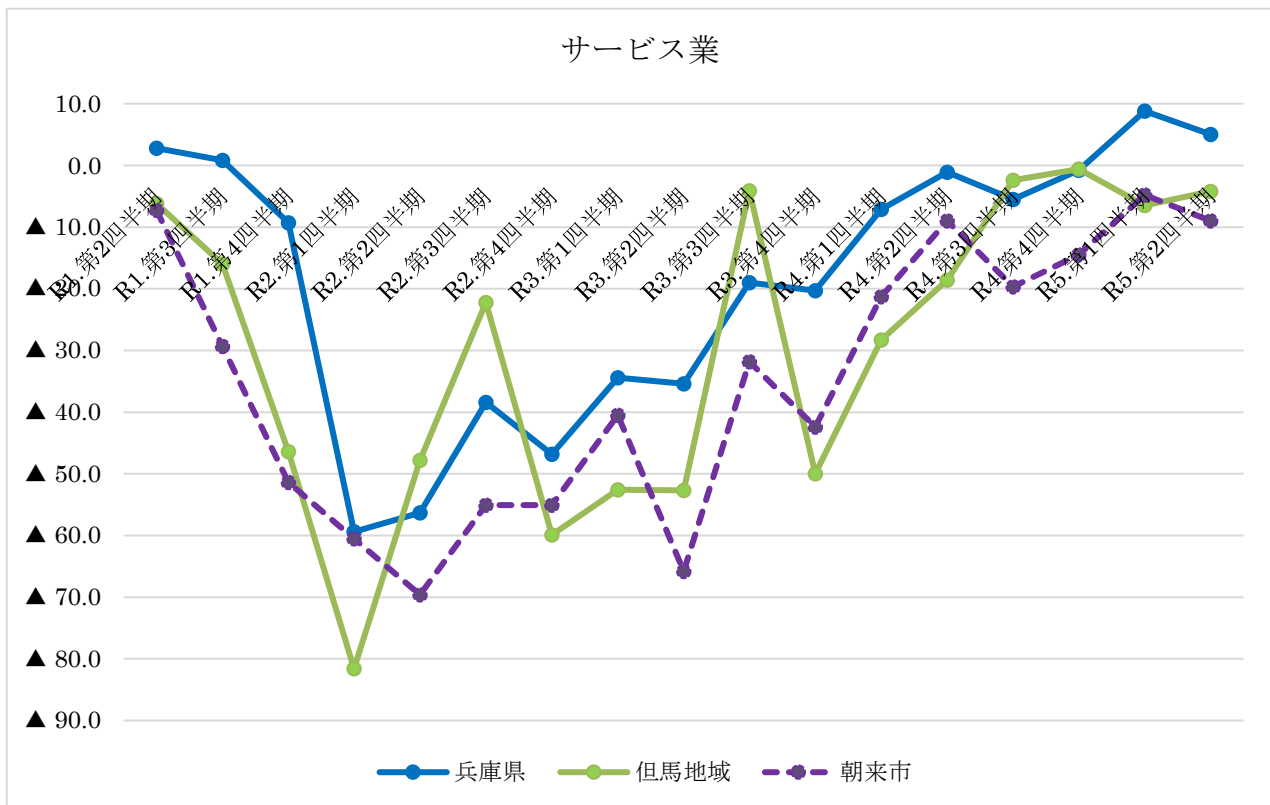
	件数	構成比
好転	15件	22.4%
不変	31件	46.3%
悪化	21件	31.3%

「悪化」と回答した事業所は増え、D.I. 値は若干の減少を見せました。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	5.0ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲4.2ポイント
朝来市	▲9.0ポイント

前回調査と同様、兵庫県全域ではD. I. 値がプラスに転じ、但馬地域・朝来市はマイナスとなり、前回調査と似た数値となりました。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

D.I.値について兵庫県全域・朝来市では若干の減少となり、但馬地域では微増となりました。1年前の同時期と比較した場合、但馬地域の回復が大きくなっています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2022 年度第 3 四半期	2022 年度第 4 四半期	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化
3 位	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難

他の 4 業種と同様に「材料等仕入単価の上昇」を多く回答した事業所が最も多くなっています。今回調査では「従業員の確保難」も上位にあがっており、人手不足も大きな課題になっている状況です。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	3 件
売上・事業拡大	28 件
現状維持	35 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	3 件

※複数回答あり

・廃業を検討（3 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

○サービス業種ごとの D. I. 値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を 2 件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	5 件	31.3%
不変	7 件	43.8%
悪化	4 件	25.0%
D. I. 値	—	6.3 ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	6 件	85.7%
不変	1 件	14.3%
悪化	0 件	—
D. I. 値	—	85.7 ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	1 件	14.3%
不変	3 件	42.9%
悪化	3 件	42.9%
D. I. 値	—	▲28.6 ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	2 件	15.4%
不変	5 件	38.5%
悪化	6 件	46.2%
D. I. 値	—	▲30.8 ポイント

飲食店は D. I. 値が減少となり、一方で宿泊業は「悪化」と回答した事業所が 0 件となり大きく上昇となりました。「洗濯・理容・美容・浴場業」および「自動車整備サービス、運送業」については減少の結果となりました。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	1	0	0	2	3
40代	5	8	2	8	23
50代	13	8	10	25	56
60代	10	13	9	17	49
70代以上	6	10	19	16	51

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	5	3	10	11	29
補助金・助成金の相談	20	20	21	36	97
各種認定について	4	4	4	3	15
IT化について	3	3	6	7	19
税務・労務について	4	4	10	12	30
特に相談等は無し	7	13	7	16	43

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	0	1	3	4
売上・事業拡大	16	20	13	28	77
現状維持	15	15	18	35	83
事業承継への取り組み	6	9	9	10	34
廃業検討	1	1	5	3	10

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	0	1	1
事業譲渡なども、全く考えていない	1	1	5	2	9

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	4	4	16	27	51
1人～5人	18	11	12	25	66
6人～10人	4	5	7	7	23
11人～20人	5	2	3	6	16
21人以上	3	15	1	3	22
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	18	16	9	19	62
適正人数である	11	13	12	23	59
雇い入れが過剰である	0	1	1	0	2
雇用していない・しない	4	4	17	25	50

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	19	6	18	23	66
1人～5人	13	19	11	31	74
6人～10人	0	1	3	7	11
11人～20人	0	5	3	4	12
21人以上	0	3	0	1	4
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	5	10	3	15	33
適正人数である	15	17	14	31	77
雇い入れが過剰である	0	2	1	0	3
雇用していない・しない	11	4	17	19	51

○令和5年7～9月と前年同期(令和4年7～9月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	4	11	5	15	35
	同じ	18	19	14	31	82
	悪化	12	8	20	21	61
売上	増加	6	0	0	2	8
	同じ	16	2	0	11	29
	減少	12	1	4	3	20
販売価格	増加	7	0	0	0	7
	同じ	20	0	4	0	24
	減少	6	3	0	1	10
仕入価格	増加	0	1	1	2	4
	同じ	7	4	3	12	26
	減少	27	33	35	52	147
資金繰り	好転	2	3	0	3	8
	同じ	27	3	24	47	101
	悪化	5	0	14	16	35

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	1	1	7	1	10
新規参入業者の増加	2	0	3	3	8
利用者ニーズの変化への対応	2	5	14	14	35
店舗施設の老朽化	1	8	10	23	42
人件費の増加	12	13	6	12	43
人件費以外の経費の増加	10	17	13	20	60
利用料金の低下・上昇難	0	1	5	12	18
材料等仕入単価の上昇	22	35	23	44	124
金利負担の増加	0	1	0	1	2
事業資金の借入難	2	0	1	4	7
従業員の確保難	18	19	6	22	65
熟練技術者の確保難	16	5	1	8	30
需要の停滞	9	6	11	6	32
その他	1	0	3	4	8

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org